



# 遠回り

【第24号】  
認定NPO法人ロシナンテス 発行  
〒802-0082  
北九州市小倉北区古船場町1-35  
北九州市立商工貿易会館 7F  
TEL:093-521-6470  
E-Mail:info@rocinantes.org  
特定非営利活動法人ロシナンテス  
ROCINANTES

## 出張報告

**8か月ぶりのザンビアへ**  
久々にザンビアに出張しています。約8か月ぶりに事務所と寮を開けたため、至る所に埃が積もっており、廊下には蟻の巣までありました。到着後、まずは勤務スペースを掃除するところから始まりました。WiFiがつかない、お湯が出ない、翌朝から9時間の停電...という感じでアフリカのあるあるを体感しながら、久しぶりの現場入りに向けてと緊張が入り混じった気持ちを感じています。ザンビアの後、スーダンへと向かいます。

### 事業再開に向けて

新型コロナウイルスの影響で既存の事業を一時中断してから、半年以上が経過しました。当初、コロナは未知の感染症でありましたが、日々情報がアップデートされる中で、この感染症との戦いは長期にわたることが見えてきました。社会も経済も、withコロナで進めざるを得ないと言われています。

ロシナンテスも、リスクとベネフィットを考慮しながら、事業を再開する方針へと舵を切ることを決定しました。今回、理事長川原及び駐在職員がザンビアとスーダンへ出張し、感染症対策や緊急時を想定した医療施設の視察などの体制整備を行います。出張を経て、これらの整備が問題なく完了すれば、日本人の現地駐在を再開する予定です。

## 【スーダンでのコロナ対策支援】

ロシナンテスは、事業地である北コルドファン州の4つの村で新型コロナウイルスの対策支援活動を実施しました。

**現地に潜む様々なリスク**  
スーダンには、潜在的に感染症が広まりやすい様々なリスクがあると考えています。

### ＜1＞従来からの生活様式

スーダンでは、皆で皿を囲み、フォークや箸ではなく手を使って食事をするのが一般的です。また、挨拶では同性同士がハグをしますし、多くのイスラム教徒はモスクで集団での礼拝を行います。

### ＜2＞感染症に関する知識や情報の不足

村落部において、テレビやスマートフォンで情報収集ができる人は限られています。そのため、新型コロナウイルスのものや、感染対策などの基本的な情報も入手できていない人が多く存在します。

### ＜3＞市民の生活困窮

スーダンの経済状況は、今なお非常に厳しい状況です。インフレ率は上昇し続けており、本年9月には212%にも上りました。給与は変わらない中物価上昇が続く、人々の生活は日に日に厳しくなっています。正しい感染予防の知識があっても、生活苦により、マスクや石鹸が購入できない人もいます。

### ＜4＞各地で生じたデモ

6月末のコロナ禍において、真の民主化を求め、100万人の参加を呼び掛けるデモが発生。その他にも、小規模なものを含め市民によるデモ活動は複数回行われていました。報道では、大勢の人がマスクを着用せずに集まり、大声を出している様子が見受けられました。

**活動内容**  
＜1＞新型コロナウイルスに関する情報提供  
それぞれ750世帯(約3750人)、1200世帯(約6000人)を対象に、啓発活動を行いました。これまで実施してきた給水所建設後の住人向けのトレーニング等は、集会形式で行ってききましたが、今回は密集による感染を防ぐため、巡回車とスピーカーを利用して、村中を回りながら情報をアナウンスする形式をとりました。

### ＜2＞衛生用品配布

保健省のアドバイスの下、診療所、小学校、一般家庭を対象に、マスク、石鹸、ハンドサニタライザーの配布を行いました。情報提供と同時に必要な衛生用品を寄贈する活動も行いました。

### ＜3＞新しい形を模索

これまでは、ロシナンテスとしてSDOの職員が直接現場に赴いて活動してきましたが、都市部から村落部へ人が移動することによるウイルスの伝播を防ぐため、今回は両職員による村への訪問を控えることにしました。代わりに北コルドファン州の保健省職員、保健省による研修を受講した現地ボランティア、村のリーダーで構成されたチームが活動を実施しました。自分達が現場で動けないもどかしさを感じながらも、SNS通話やメールなどのオンラインツールを活用することで、現地の人を軸とした、遠隔での支援活動の新たな形ができたのではないかと考えています。



マスク、石鹸、ハンドサニタライザーの配布

現地ボランティア、村のリーダーで構成されたチームが活動を実施

## 事務局だより

こんにちは、スーダン駐在員の小川です。現在ザンビア・スーダンへ出張しています。2019年にスーダン情勢の悪化により二度の国外退避を余儀なくされ、本年はコロナの影響で4月に日本へ一時帰国。結果的に複数回の退避オペレーションを経験し、団体内では退避マネージャーだね、と言われるようになりました。事業が進められないもどかしさと、事業実施を待っている現地の方への申し訳ない思いを抱えながらも、コロナ禍においてリモートでの感染症対策支援など、新しい活動の形ができてはじめてました。また現場へ戻れる喜びを感じつつ、コロナ禍で学んだ「現地の方を主体とした活動」のサポートが出来るよう努めて参ります。

私たちがNPO法人ロシナンテスの名前は、小説「ドンキホーテ」に出てくるドンキホーテが乗る瘦せ馬のロシナンテに由来しています。「私たち一人一人は瘦せ馬ロシナンテのように無力かもしれないが、ロシナンテが集まり、ロシナンテになれば、きっと何かできるはずだ！」と考え、「ロシナンテ」と名付けました。今後もこれを信念として一歩一歩進んでいきたいと考えておりますので、皆さまのご支援をよろしくお願い致します。

## ロシナンテス応援企業

内科・外科・消化器内科・緩和ケア内科

**岩本クリニック**  
理事長 岩本拓也  
北九州市小倉南区中興一丁目20-50  
TEL 093-472-1281  
FAX 093-472-6712

## がんばれロシナンテス!

税理士法人  
**小城会計事務所**  
北海道旭川市東光8条1丁目1-1  
TEL.0166-31-2313

内科/消化器内科/リウマチ科  
**柏木内科医院**  
院長 柏木 陽一郎  
〒802-0064 福岡県北九州市小倉北区片野9-21-10  
tel 093-921-7943 / http://www.kashiwagi-naika.com/

リラクゼーションサロン  
**Retreat**  
リトリート  
免疫力アップ! 疲労回復! 温活! 育児! 皆様の目的に合わせたメニューを提供。リピーター様も多数の人気隠れ家サロン♡  
北九州市小倉北区香春口2-2-16  
TEL 093-967-1166  
OPEN/12:00~22:00 http://retreat-kokura.com/

## 領収書の年一回発送についてのお知らせ

右記の対象者の方には、一年分のご寄付(1~12月受領分)をまとめて記載した領収書を翌年1月に発送しております。2020年分は、2021年1月末までにお届け予定です。もしも予定日を過ぎてもお手元に届かない場合は、ロシナンテスまでご連絡ください。

対象者  
毎月ご支援いただいている方  
(クレジットカード・口座振替)  
年一回発送をご希望の方

年一回発送対象以外のご寄付につきましては、ロシナンテスが受領した日の翌月までに領収書を発送しております。届いていない場合やその他(紛失や破損など)ございましたらロシナンテスまでご相談ください。

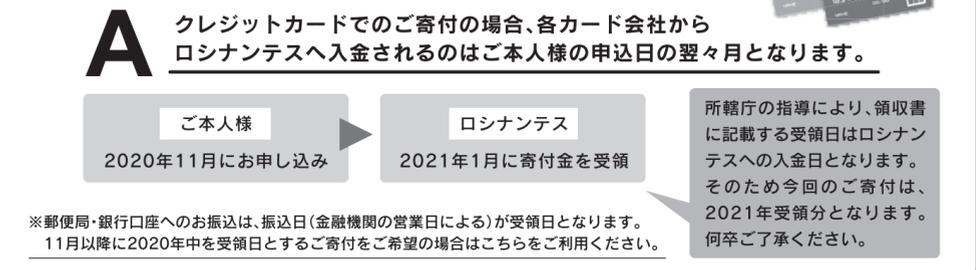
## 領収書についてよくあるご質問

**Q** 郵便局で寄付を入金しようとしたところ、「窓口に来た人の名前を払込取扱票に記入してください」と言われました。私ではなく家族の名前で領収書がほしいのですが、どうしたらよいですか?  
**A** 払込取扱票の余白に、下の記載例のようにご記入ください。法人名でも作成いたしますのでご遠慮なくお知らせください。

**記入例**  
個人名みの場合⇒「領収書宛名: 山田 太郎」  
法人名の場合⇒「領収書宛名: 山田株式会社」「領収書宛名: 山田株式会社 代表取締役 山田 花子」等

※払込取扱票以外でご寄付の場合でも、振込人(申込者)とは違うお名前での領収書をご希望の際は、ロシナンテスまでご連絡ください。

**Q** クレジットカードで2020年11月に寄付をしました。2020年分の領収書が届きません。  
**A** クレジットカードでのご寄付の場合、各カード会社からロシナンテスへ入金されるのはご本人様の申込日の翌々月となります。



## 報告書等の郵送物をメールに変更できます

ロシナンテスのご支援者の皆さまへの活動報告を重要なことと考え、定期的に報告書を制作しお届けしております。基本的には郵送でお届けしておりますが、海外にいらっしゃる方や、郵送物を受け取りたくない方には、新しい報告書を発行した際にwebで閲覧できるURLを記載したメールをお送りすることも可能です。(メールマガジンとは別に年3回のお知らせです)メールでの送付をご希望の方は、「登録フォーム」よりご登録をお願いいたします。



https://forms.gle/rfQ7baALCow6nYKb9  
右記QRコードより「登録フォーム」へ  
もちろん、インターネットの環境がない方は、これまで通りお電話やメールなどお気軽にご要望をご連絡ください!

ロシナンテスからの定期刊行物  
・会報「遠回り」(年2回発行)  
・年次報告書(年1回発行)  
その他イベントのご案内など特別なお知らせを同封・郵送することがございます。

## 新しくロシナンテになったスタッフのご紹介

**田中陽介**  
ザンビア事務所スタッフ  
民間の企業経験が長く、またアフリカも初めてで大きな挑戦になります。医療が不足した環境に生きる人々に真摯に向き合うロシナンテスの活動に共感し入職しました。住民やチームと協力して、皆様のご支援にかなない、住民からも支持される活動を行います。

## 募金箱を設置いただける場所を募集しています

ご検討いただける方は、お問い合わせフォームよりご連絡ください。※右記QRコードよりお電話での相談も受け付けています!  
募金箱の設置にご協力いただいている辻医院様  
https://www.rocinantes.org/contact/



# 厳しさを増すスーダンの今

## 新型コロナウイルス感染症の状況は？

「スーダンにおける新型コロナウイルスの状況」

新型コロナウイルス感染症の影響が世界に波及していますが、スーダンで初めて新型コロナウイルスの感染者が報告されたのは2020年3月12日でした。スーダンの保健省の情報は、2020年11月16日現在、感染者1万4626名、回復者9571名、死亡者1116名と発表されています。2020年5〜6月頃は1日の新規報告者が100〜300名と急増していましたが、10月には1日に数名程度と大幅に減少。しかし11月に入ってからまた少しずつ感染者が増



2020年2月下旬～	ハルツーム国際空港での検温や問診などの水際対策
2020年3月12日	初めての感染報告
2020年3月14日	学校の閉鎖や宗教施設での礼拝の時間短縮などの措置
2020年3月16日	緊急事態宣言発令
2020年3月24日	全土で夜間外出禁止令発令
2020年3月26日	外出禁止時間の延長
2020年4月18日	首都ハルツーム州において24時間の外出禁止(ロックダウン)、同時に州間の移動も禁止
2020年9月17日	全ての行動制限解除

## 「スーダン政府の新型コロナウイルス対応」

4月より数か月間行動制限が続いていましたが、夏頃から段階的に解除され、9月には全面的に解除となりました。外出制限の緩和とともに、官庁や商業施設、学校も徐々に再開しています。保健省や有志の市民が動画や画像などを使って新型コロナウイルス予防の啓発活動を行っています。スマートフォンが利用可能な人々を中心に、フェイスブックやツイッターなどのSNSを通じて迅速に情報が広まっているようです。スーダンの人々の緊急事態での行動力には驚かされるばかりです。

### インフレ率 200%越え!? 悪化の一途を辿るスーダンの経済

「政変後も悪化する経済状況」

スーダン経済は昨年の政変を経た後も、悪化の一途を辿っています。

2020年・月	インフレ率
4月	98%
5月	114%
6月	136%
7月	143%
8月	166%
9月	212%

### 「経済緊急事態宣言」

このような状況下、9月10日に財務大臣が経済緊急事態宣言を発令。不当な外貨取引及びゴールドの密輸に係る取り締まりの強化が打ち出されました。また、生活必需品を市中価格の2〜3割減の価格で政府が販売する「My Commodity Program」の開始や、2020年予算の再修正なども含まれています。

### 「テロ支援国家指定解除の可能性」

また、10月19日、米国のトランプ大統領が「スーダンが米国のテロ被害者に3億3500万ドル(約353億円)を支払えばテロ支援国家指定を解除する」と表明したとのニュースが報じられました。実現されれば、米国からの経済支援や国際機関からの融資再生への道が開けることが期待されます。

\*米国は、国際テロ組織アルカイダの指導者だったビンラディン氏に居所を提供したなどとして、スーダンを北朝鮮やシリアなどと並ぶテロ支援国家と見なし、1993年にテロ国家に指定しています。



### 記録的な被害が多発する洪水、感染症の危険も

スーダンの雨季は6〜9月頃で、例年洪水が発生しますが、今年はいくつもの州で約87万人以上が洪水の影響を受け、倒壊家は約8万棟、損壊家は約9万棟にも及んでいます。8月上旬には、ロシナンテスの事務所近くにある商店の床上浸水の様子も報道されていました。9月にはスーダン政府からの要請を受け、日本政府からも洪水被害緊急援助物資(テントや発電機等)が届けられました。

一般的に、下水道などのインフラが整っていない地域では、雨季に雨が降り、水が溜まることで蚊の発生も増加します。そういった環境では下痢症(コレラ、腸チフスなど)やマラリアなどの感染症が流行しやすくなります。現在スーダンでは、特にコロナとマラリアの流行リスクが懸念されています。

既にスーダン全土で110万人を超えるマラリアの症例が報告され、18州のうち15州でマラリアの流行基準を超えていると発表されました。UNOCHA(国連人道問題調整事務所)によると、9月現在、スーダン全土で450万人以上が媒介感染症(蚊やダニなどに媒介されて感染する疾患)のリスクに晒されているとのこと。マラリア以外にも、蚊が増えたことにより、2000人以上がウイルス性出血熱の疑い、200人以上がチクングニア熱と診断されるなど、影響が広がっています。保健省はその対策として、蚊を増やさないようにするため、水たまりを砂で埋めたり、貯水タンクには蓋をしたりしており、就寝時は蚊帳を利用するなどの対応を呼びかけています。暫定政権が発足して約1年半になりますが、続く経済危機に加え、新型コロナウイルス、洪水被害が加わり、厳しい状況が続いています。



## 小学校再開に合わせて衛生用品を寄贈

### 「新型コロナウイルスの影響で学校が閉鎖に」

ザンビアでは、新型コロナウイルスの影響で、2020年4月から小学校〜大学に至る全ての学校が閉鎖されていました。諸外国と同様に、未知のウイルスの感染拡大を防ぐための判断だったと思います。ザンビアの学校は1月始まりのため、生徒たちは、新しい学年が始まって数か月で学校に通えなくなってしまう。その後新型コロナウイルスの概要が少しずつ見えてくると、6月から進級卒業試験のある7年生、9年生のみ通学が始まりました。(この試験の結果に応じて進学できる学校が決まるため、ザンビアでは非常に重要な学年なのです。)第3学期に入る10月からは、全学年の登校が再開され、学校にはにぎやかさが戻ってきました。

地がある中央州からルサカ日本大使館へ、学校再開にあたって必要となる感染症予防のための衛生用品寄贈の要請がありました。この中央州からのリクエストに応じる形で、ロシナンテスでは事業地の村にある5つの小学校に対して、衛生用品を寄贈しました。10月5日から10月8日にかけて、現地スタッフが中心となり、液体石鹸、手洗いの蛇口の付いたバケツ、アルコール消毒液、非接触型体温計、コロナに関する予防啓発ポスターを各学校へ配布しました。



寄贈の当日には、高学年の生徒を中心に、正しい手洗い方法のデモンストレーションを全校生徒の前で行い、手洗い習慣を子どもたちに理解してもらおうことを目指しました。また、ポスターを用いて、校長先生や教員から感染回避に関する講話も行われました。ある学校の生徒会長からは「新型コロナウイルスへの感染対策は、自分たちだけで行うことは難しかったです。寄贈をいただきありがとうございます。」とのコメントをもらいました。

また、学校からは衛生意識啓発用ポスターを全教室に掲示するため、ポスターの追加やマスクの寄贈のり



クエストもありました。日本の学校とは異なり、全生徒が目にすることができる掲示板や共有の空間はないため、こうしたリクエストがあったと思われま。

駐在員が日本へと退避している状況の中で初めて行った支援活動でしたが、ローカルスタッフの活躍によって無事に寄贈を行うことができました。これまでは違う形での活動は学ぶことが多く、遠隔での国際協力活動の一手となりました。皆さまからの大切な思いを現地に届けられるよう、現場の声を大切にしながら今後も事業を行っていきたくと思っています。



## 「ない!と登校できない!」生徒たちにマスクを寄贈

コロナ禍において、ザンビアで起こった変化の一つがマスクの着用です。それまでは、ザンビアでマスクを着用している人を見たことはありませんでした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ザンビア政府はショッピングモールや公共交通機関を利用する際のマスク着用を呼びかけています。同様に、学校再開にあたっては、生徒や教職員はマスクを着用するよう指導されています。

10月に衛生用品寄贈を行った際に、現地の学校関係者から聞き取り調査を行ったところ、マスクをしていない生徒は授業に参加できていないということがわかりました。政府

からのマスク支給はあったものの不十分で、全生徒が手にすることはできなかったそうです。足りない分は各家庭の責任で購入するしかありませんが、子どもをたくさん抱える家庭にとっては負担が大きく、用意が難しいのです。またマスクを着用することの重要性について十分な理解をしていない保護者は、マスクの購入をためらっている状況でした。

進級試験を間近に控えているにもかかわらず、登校できない7年生や9年生がいることは今後の彼らの学校生活に大きな影響を与えます。マスクの有無によって学校に通えない子どもがいるのを見逃すことはできません。そこでロシナンテスは、11月5日にマスクを持たない7年生と9年生が多くいる2つの学校に対し、150枚のマスクの寄贈を行いました。また11月25日には、出張でザンビアを訪れた理事長川原と駐在員の田中がムワブラ地域の学校を回り、合計2400枚のマスクを寄贈することができました。準備のほとんどを日本からの遠隔で進めてきましたが、配布に間に合うよう現地入りでき



現地のテーラーに依頼して作成した布製のマスク



配布のためにマスクの仕分け作業をする田中と現地スタッフ。枚数が多いのでなかなか大変です...

# 雲外蒼天

## 治安改善への大きな一歩となるか？ スーダン政府と反政府勢力が和平協定へ署名

**ダルフール紛争の勃発**  
2003年、スーダン西部のダルフールにて、政府・アラブ系民兵と反政府勢力の本格的な武力衝突が勃発します。約30万人が殺害され、約250万人が難民・避難民になる事態へと発展する、世界最大の人道危機「ダルフール紛争」の始まりでした。

国際社会が様々な形で平和構築支援を行ってきたものの、争いは収まらず現在に至っています。しかし8月31日、スーダンの暫定政権の首相ハムドク氏が、スーダン西部ダルフール地方などを拠点とする複数の反政府勢力と和平合意文書に署名したという大きなニュースが入ってきました。

**なかなか解決に向かない紛争**  
バシール前大統領率いる当時のスーダン政府は、「太古の昔から、この地方は農民と遊牧民の水争いでたびたび衝突しており、争いは小規模なものであり自分たちで解決できる」と主張していました。しかし国連は、非イスラム系の農民とイスラム系の遊牧民の争いであり、スーダン政府が民兵を使って非イスラム系民衆を襲撃して多数の犠牲者が出ていると発表し、スーダン政府を厳しく非難してきました。その後もスーダン政府は、紛争は認めるものの犠牲者、難民ともに小規模であるとの国連発表を否定してきました。

2004年以降、アフリカ連合や国連の介入で停戦や和平合意が結ばれてきましたが守られず、現在も紛争は未解決のままです。現在の国連発表では犠牲者は30万人以上、避難民は250万人以上とされています。

- 2003年 武力衝突で紛争が本格化
- 2004年 アフリカ連合(AU)が停戦監視のための部隊を派遣
- 2006年 ダルフールと和平合意(DPA)署名
- 2007年 ダルフールAU・国連合同ミッション(UNAMID)設立
- 2010年 ドーハで「ダルフール問題解決のための枠組み合意」署名

**バシール政権の終焉が何をもたらすか**  
ダルフール紛争問題が注目され始めたのは、国際的な著名人がダルフール問題の解決に向けて積極的に活動してきたからです。2006年、米国の俳優であるジョージ・クルーニーが自らダルフールに足を運んだことは大きなニュースとして取り上げられました。ステイブン・スピルバーグは中国がスーダン政府の後ろ盾になっているとして中国政府を批判し、北京オリンピックのボイコットを叫ぶに至っていました。

2009年、国際刑事裁判所(ICC)は、バシール氏にダルフール紛争における戦争犯罪として逮捕状を発出しています。ICCが現職の大統領に逮捕状を出したのは史上初のことでした。

バシール氏は逮捕もされずに長年スーダン大統領の地位にあり続けました。スーダンがICC非締約国であるため、慣習国際法上の逮捕及び刑事管轄権から免除され、逮捕に至らなかったため。しかし、2018年末から状況が一転、経済状況の悪化が原因でついには国民のデモが大規模に起こり、デモの焦点が経済から政治へと変わっていった結果、バシール氏は最終的に解任されることとなりました。現在は次の選挙(予定では2022年)が行われるまでの期間の暫定政権が成立しています。新しい政権が前政権の行ってきたことを徐々に明らかにしていく中で、前政府がダルフール紛争について「国際社会が事実を捻じ曲げてきた」と主張してきたことへの信憑性も問われています。

### 新政権と反政府勢力との和平協定

そのような中、暫定政権は前政権の負の遺産を清算しようとしています。8月末、スーダン革命戦線(Sudan Revolutionary Front:SRF)に参加するダルフール、南スーダンとの国境にある青ナイル州、そして南コルドファン州の複数の反政府勢力とスーダンの暫定政府が和平協定に合意、署名しました。

今回の和平合意が素晴らしいと感じさせられたのは、仲介したのが南スーダンということですが、ご存知のように南スーダンは、内戦の末に2011年にスーダンから分離独立した国です。独立後南スーダンの政府内、部族間での対立で内戦に近い状態にまで陥った



# ザンビアの新型コロナウイルス感染症の状況は？

## 「礼拝や集会の禁止に関する議論も」

ザンビアにおいて初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されたのは、3月中旬でした。感染者の多くは海外からの帰国者で、当初は外国人の病気がと捉えられていました。しかし、程なくして国内での市中感染が広がり、学校の閉鎖、バーやナイトクラブの営業中止、レストランは持ち帰りのみ等、日本と同じような対策が行われるようになりました。特にザンビアの人々にとって影響が大きかったのは、教会における礼拝や集会の制限です。ザンビア人の多くは熱心なキリスト教徒で、週末には教会で神に祈りをささげるのが日課です。大切な日常である「教会に集まる行為」が制限されたことは大きな衝撃だった様子で、この施策にはSNS上でも議論が起こっていました。新型コロナウイルスの早期解決を神様に祈る人がいたり、逆に、神様が起こしたことなので仕方ないと考える人がいたり、キリスト教が根付く国の一面が垣間見えていました。



スーパーやショッピングモールでの感染症対策

## 「国境封鎖の影響」

ザンビアでも国境封鎖の措置を取っていました。日用品の多くを海外からの輸入に依存していることから、国境を閉鎖することは生活に大きな影響を与えるため、これについても国民からは様々な声があがっていました。買い占めや暴動などの騒ぎには発展しなかったことが不幸中の幸いではないでしょうか。

観光にも大きな打撃を与えています。ザンビア屈指の観光地であり、世界遺産にもなっているビクトリアの滝は、本来であればヨーロッパからの観光客を中心として、雨季が終わった4月頃が最盛期となるはずでしたが、今年は閑散とした様子だったようです。雨季に多く雨が降ったことから滝の水量が多く圧巻の景色を提供していたということですが、残念ではありません。また、外国からの観光客が減ったことは、経済に大きな影響を与えることは言うまでもありません。一日でも早く以前のような、観光地としての賑わいが戻ることを祈ります。

## 「村落部での感染は少ないものの…」



スーパーやショッピングモールでの感染症対策

健康と経済の両立を実現する「New Normal」の確立が必要だと述べました。国民は少しずつ経済活動を再開し、賑わいを取り戻しつつあるようです。

10月時点で感染者数の合計は1万5000人以上、亡くなった方はおよそ350人。感染状況に目を向けると、まだ安心して生活できる状態とは言えませんが、マスクの着用者が少なくなるなど、新型コロナウイルスに対する国民の意識は少しずつ低下していると感じます。マラリアやコレラと比べると、症状が普通の風邪と変わらないため、新型コロナウイルスに対しての予防意識を維持することはどの国においても簡単なことではないのかもしれませんが、村落部に行けばその傾向はさらに強まります。首都ルサカを中心に感染が

広がっていることから、村落部の生活には関係ないと考えている人々が多いようです。しかし、実際には少しずつ感染者が報告されていますし、新型コロナウイルス患者に対応するための施設は村落部のほうが整っていないので、本来は首都以上に警戒しなければいけないのです。まずは事業地から、感染が広がらないよう地道に活動を行っていきたいと思います。



感染予防を啓発するために設置された看板

# 「東京事務所を移転しました！」



大量の荷物を送り出した東京事務所

こんにちは、東京事務所の立花です。東京事務所は、駐在職員が行き来やインターネットの受け入れなど、その時々で2〜7名程度に人数が変動します。そのため、拠点として会議スペースもある事務所を借りていたのですが、新型コロナウイルスの影響でリモートワークも増えたことから、この度シェアオフィスに移ることにしました。

新しく拠点とするのは、DIAGONAL RUN TOKYO(ダイアゴナルラン)と読みます(という、東京駅のそばにあるシェアオフィスです)。ロシナンテスも日頃大変お世話になっている福岡銀行さんが運営されており、福岡にも同様のシェアオフィスを構えているそうです。

東京事務所では、海外で使用する予定の物資などは北九州本部へ送り、不要な家具は売却。これらがなかなか大変な作業でした。…無事移転が終わってホッとしています。

東京駅をご利用になる際には、ぜひお立ち寄りください！



大量の荷物を受け取った北九州本部

のですが、今では何とか治まり、今回はスーダンの紛争問題の解決を仲介するという事で驚きをもってみていました。

2つのグループを除く複数の反政府勢力と和平合意を締結したのが今年の8月31日です。そして9月4日に残る2つのうちの1つの反政府勢力との和平合意が結ばれたと報道がありました。

### 新政権の躍進に期待

一部反政府勢力との合意がなされていないことから、これまでと変わらず解決につながらないのではと指摘する人もいますが、今までの決定的に違うところがあります。それは、新しい暫定政権が誕生していることです。

暫定政権は、新しいスーダンを作ろうという気概にあふれているように見えます。政治の混乱があり、また経済的に非常に苦しい状況の中にあるスーダンですが、このように和平合意を次々と締結していく暫定政権と今後民主的な選挙を行おうとするスーダンの人たちに大いに期待したいです。

# アラビア語講座

## スーダン方言

ここでは、スーダンに来たらよく耳にする簡単なアラビア語をご紹介します。少しでもスーダンを身近に感じていただけたら幸いです。

ワンポイント！ アラビア語表記は右から左に読み書きします。

### شكرا

◀◀◀ シラクシ ▶▶▶

◀ シュクラン ▶

どんな言語でも真っ先に覚えたい「ありがとう」という表現ですが、アラビア語では「シュクラン」と言います。買い物でも、バスに乗っても、カジュアルな場面でも、フォーマルな場面でも、どこでも使える表現です。また、「シュクラン」はスーダン方言のみならず、アラビア語圏どこに行っても使えるので、ぜひ覚えていただけたらと思います。

### ميامية

◀◀◀ ヤーミーヤ ▶▶▶

◀ ミーヤミーヤ ▶

「ミーヤミーヤ」も「タマーム」と同様に、良い、素晴らしいというニュアンスを持っています。直訳は100中の100、つまり「100%」です。「タマーム」と同様に使えるので、「ケーフ？」と聞かれたときでも、料理が美味しいときでも、服装を褒めるときでも、幅広い場面で使えます。「タマーム」はあまりにも一般的な表現ですが、外国人が「ミーヤミーヤ」を使うと、そんな単語まで知っているのか！とスーダン人に喜んでもらえること請け合いです。

それではマアッサラマ!!

### مع السلامة

### كيف

◀◀◀ フーケ ▶▶▶

◀ ケーフ ▶

「ケーフ」は、英語で言うところの「How」と同じ意味で、方法や状態などがどうなっているのか尋ねるときに使います。英語でも「How are you?」とお元気ですか？と質問するとき「How」を使いますが、アラビア語でも「ケーフ」を使います。本来は「ケーファルハール(直訳:状態はいかがですか?)」がお元気ですか？の意味になりますが、なんと、「ケーフ」だけでも通じます。友人や同僚などのカジュアルな場面でよく耳にします。

### تمام

◀◀◀ ムーマ ▶▶▶

◀ タマーム ▶

シュクラン同様、カジュアルな場でもフォーマルな場でも様々な場面で本当によく耳にする表現です。「タマーム」は良い、素晴らしいというニュアンスを持っています。「ケーフ？」元気？と聞かれたら、元気よく「タマーム！」と答えるのがスーダンのお決まりの挨拶です。料理が美味しいときにも、仕事や学校で褒めるときにも使える便利表現です。

アラビア語も日本語と同じく方言が沢山あります。本日ご紹介したのは現地スタッフとも使用するアラビア語スーダン方言です。

# 国内の活動

## REPORT1 2020,04,30

### ロシナンテス、新しく誕生したハチドリ電力のパートナー団体になりました。

このパートナーシップを記念して開催された「ハチドリTALKs」では、理事長の川原が、ハチドリ電力を主導する株式会社ボーダーレスジャパンの代表取締役社長 田口様と対談しました。



対談の様子はYouTubeでご覧いただけます。  
【ハチドリTALKs Vol.1】  
認定NPO法人ロシナンテス代表 川原尚行さんと考える  
#いま私たちにできること  
<https://youtu.be/9D5DTAQ-rZA>



## REPORT3 2020,04~11

### オンラインでの活動報告会開催の試み

水事業についてや始まったばかりのザンビア事業について、新型コロナの状況についてなど、4月~11月の間に8回の活動報告会を開催しました。オンラインでの開催やYouTubeでの配信など、初めてのことはばかりで試行錯誤の日々でしたが、皆さまのあたたかい応援で、コロナ禍でも私たちの声をお届けし、ご支援者の皆さまからの声を聴く場を確保することができました。ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。



オンラインで報告会を開催するようになって、参加者の皆さまにロシナンテスの「R」を作ってもらって記念撮影をする、という文化がうまれました！(笑)

## REPORT2 2020,11,14

### #環境問題に私たちができること

ハチドリ電力とともに取り組んでいる環境問題について考えるために開催した「#環境問題に私たちができること」では、スーダン事業部の岩吹がスーダンの環境問題についてお話ししました。もともと砂漠地帯の多い国ではありますが、気候変動の影響でその厳しさが増していたり、逆に雨季の洪水が深刻化していたり、停電が年々ひどくなっていたりと、様々な影響が出ています。こういった問題について、参加者の皆さまとともに考えました。

ハチドリ電力はCO2ゼロの自然由来100%の電気を届け、月々の電気代の1%が社会を良くするために活動する人や団体の支援に、もう1%が再生可能エネルギー発電所の増設につながるという新しい仕組みを展開するエネルギー事業です。ハチドリ電力代で使われた電気の1パーセントが、ロシナンテスに寄付されます。

## REPORT4 2020,06,20

### コロナ時代に僕たちは、これから、どう生きていくか



NPO法人あおぞらのイベント「コロナ時代に僕たちは、これから、どう生きていくか Vol.1」に、理事長川原が登場しました。

NPO法人あおぞらは、代表の医師・葉田甲太先生が立ち上げた、カンボジア、ラオス、タンザニアで医療支援活動を行う団体です。葉田先生については、向井理さん主演で映画化された著書「僕たちは世界を変えることができない」でご存知の方も多いかもかもしれません。当日は葉田先生のナビゲートの元、新型コロナの影響で様々な変化が起こっている今、私たちに何ができる

## 活動報告会の開催が決定【北九州】2021年1月16日(土)

新型コロナの影響で2~3月のイベントを中止して以降は、オンラインで報告会を開催してきました。今まで参加が難しかった地域の皆さまにお会いできたり、会場準備が不要だったり良い面がたくさんあり、今後も継続していく予定です。しかし一方で、ネット環境の

問題などで参加できないというお声も多くいただいています。そこでこの度、久しぶりに会場をお借りしての活動報告会を開催いたします。新型コロナの影響で2020年4月から日本に帰国していた駐在職員がアフリカに戻れることとなり、事業を本格再開で

みなさんとの再会を楽しみにしています



きる見込みです。そうした今後の事業の見通しや、現地での新型コロナの影響などについて、スーダン・ザンビア両国に出張後、一度日本に帰国する理事長川原がご報告いたします。

日時	2021/1/16(土) 10:30-12:00
場所	北九州市立商工貿易会館 多目的ホール
住所	〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町1番35号 北九州市立商工貿易会館2階
料金	無料
定員	80名 (300名定員の会場をお借りし、80名に減らして開催いたします)
登壇者	ロシナンテス理事長 川原尚行
お申し込み	右記QRコードまたは下記URLよりお申込みください。お電話も受け付けています。 <a href="https://www.rocinantes.org/news/event/?no=102">https://www.rocinantes.org/news/event/?no=102</a>



のか、これからの時代をどう生きればよいのかを探る濃い3時間となりました。

### ご支援者様向け企画のご紹介

いつもロシナンテスを応援してくださる皆さまに、アフリカのこと、スーダン・ザンビアのこと、そしてロシナンテスのことをもっと知ってもらいたい!ということで、毎月10日(ロシ6+4)に動画をお届けする企画「ロシナンテの小屋屋」。



【ロシナンテの小屋屋 #001 おすすめのアフリカ体験】  
●前編「初めてのアフリカ」【おすすめの観光スポット】「マイナーだけどおすすめの場所」  
●後編「驚いたこと、不安を感じたこと」【おいしいもの、おいしくないもの】「訪れたアフリカの国々で感じた共通点・相違点」

【ロシナンテの小屋屋 #002 とんでもスーダン】  
「スーダンどんな国」「びっくりポイント」「スーダンの食事」「スーダンで学んだこと」

【ロシナンテの小屋屋 #003 きてみてザンビア】  
「ザンビアどんな国」「びっくりポイント」「ザンビアの食事」「ザンビアの観光地」

【ロシナンテの小屋屋 #004 駐在員の生活】  
「平日の主なスケジュール」「休憩時間の使い方」「フィールドビジット」「休日の過ごし方」

【ロシナンテの小屋屋 #005 理事長川原によるスーダン講座(初級編)】  
「スーダンに上陸」「青ナイルと白ナイル」「スーダンの洪水」「ナイルの水とスーダンの大地から作り出すもの」

【ロシナンテの小屋屋 #006日本から見るスーダンの今】  
「落ち着いてきたように見えるコロナの状況」「バスの値段が15倍!?インフレが止まらないスーダン」「まれにみる大洪水...からの感染症蔓延の不安」「テロ支援国家指定解除にまた一歩近づいた?」「イスラム法をゆるめる動きがあるかも...?」